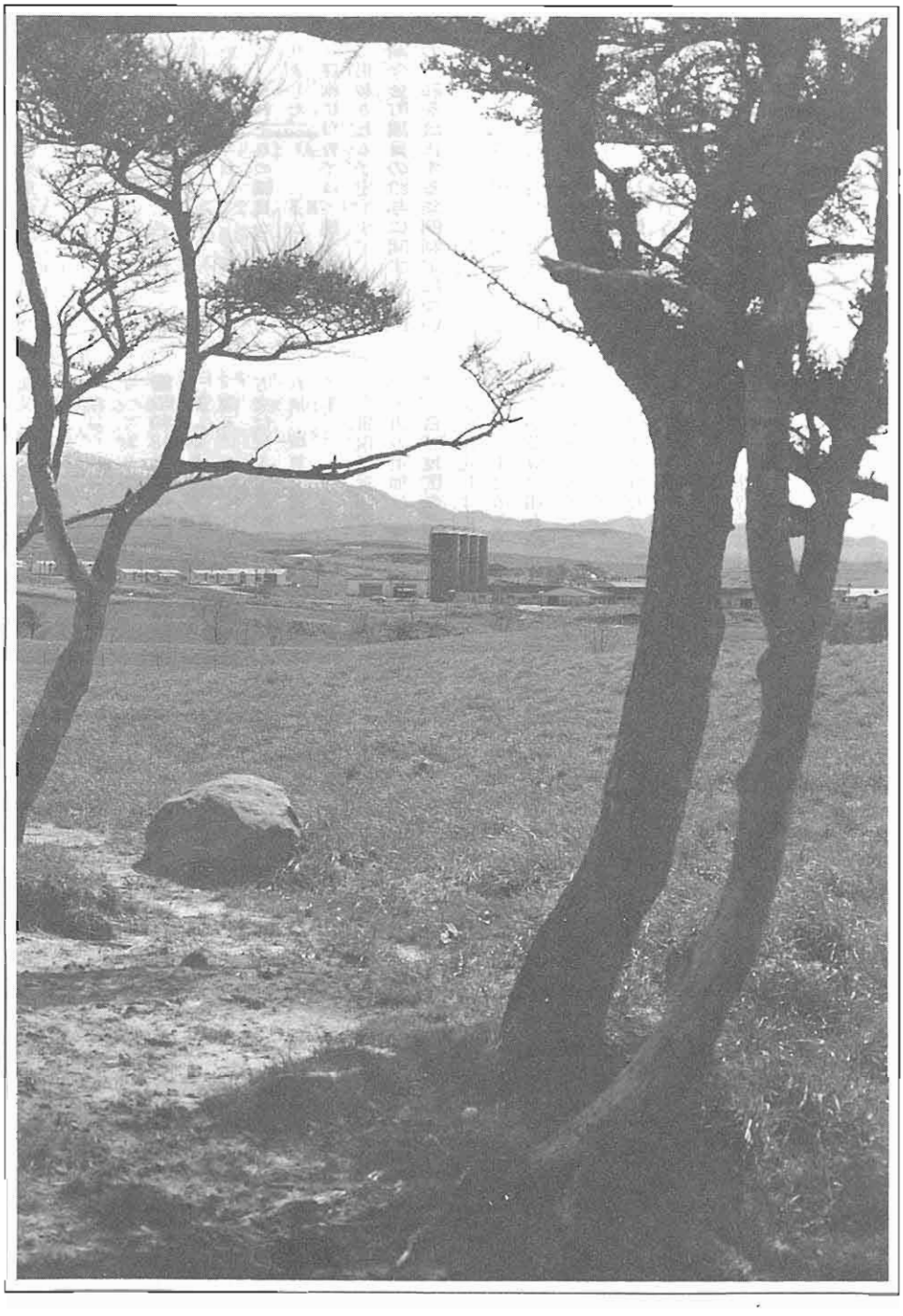
広報 いまかね

昭和58年11月号 No.299



（日進牧場風景）

議会の動き

昭和58年度第3回定例町議会が9月27～28日と両日にわたり開かれ、町長の行政報告や委員会の審査報告がありました。更に、一般質問や予算議案、条例など10件が提案審議されるなどの他、請願や陳情12件が審議されました。

■一般質問内容について

荒井議員＝児童福祉の強化について「児童福祉の強化対策に伴う児童公園の施設と児童館の建設及び用地取得について」。

長谷川議員＝本町の一村一品運動の推進について「全町民からのアイディアを募集してはどうか。特用作物の推進委員会を設置してはどうか」。

石川議員＝霜害予防対策について「霜害予防の方法は上川、空知のような盆地と今金町とは地帯が違うにもかかわらず同じ方法で対策を講じようとするところに問題があり、改善の余地があると思われる」。

田中議員＝地場産業の二次加工促進について「食品工場の誘致と芋焼酎工場の促進」。過疎対策としての企業誘致について「大理石の企業化の見とおし」。などについて、それぞれの議員から発言がありました。

詳細については、議会だよりにて掲載される予定です。

■今金町議員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

これは、町立国保病院における休日救急病院当番日に勤務する職員（医師、看護婦には支給することになっている）が検査技師、薬剤師、レントゲン技師」についても「3千200円」の手当を支給することになったものです。

■今金町固定資産評価審査委員会委員の選任について

地方税法第423条第3項の規定により議会の同意を求めるものです。

前、今金町字田代　村本　勇氏の後任として、今金町字田代　佐藤　茂氏（50歳）が選任されました。

■町道田代線道路改良工事請負契約締結について

町条例第10号第2条の規定により議会の議決を要するものです。

工事の概要

延長　L＝305m　幅員　7.5m
車道　5.5m　歩道片側　2.0m
工期は、12月中に完成の見込みとなっております。

■昭和58年度今金町一般会計補正予算（第5号）について

歳入についての主なものは、地方交付税3千百891千円が追加、これは、概算交付の確定によるものです。

災害復旧費国庫補助金4千5百858千円の追加は、今金地区の頭首工、白石地区の水路工の災害復旧事業の確定によるものです。

雑入3千百727千円の追加は、北海道備荒資金組合積立金支消交付金の取りくずしによるものです。

歳出についての主なものは、財産管理費7百92万円の追加は、明治乳業工場解体工事によるものです。

土地改良費7百388千円の追加は、金原地区農村基盤総合整備工事によるものです。

町民センター費4百925千円の追加は、センター屋上防水補修工事によるものです。

体育施設費3千5万円の追加は、総合体育館外構工事、健民グラウンドの鳴きょ排水工事などであります。

農林施設災害復旧費4千7百179千円の追加は、昭和58年発生の白石地区水路工災害復旧工事等であります。

追加総額1億7百738千円の追加となり、一般会計総予算額は、36億1千6百735千円となりました。

■昭和58年度今金町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）について

歳入については、財政調整交付金2百万円が追加、利子及び配当金33万円が追加となりました。

歳出については、疾病予防費百92千円の追加は、総合検診保険者負担分等です。

追加総額2百33万円、総予算額6億8千7百981千円となりました。

■昭和58年度今金町国民健康保険特別会計（施設勘定）補正予算（第2号）について

収入の病院事業収益3千2百13万円の追加は、入院患者、外来患者の移動により、総額9億3千4百446千円となりました。

支出の病院事業費用3千2百761千円の追加は、臨時医師の賃金、診療材料費等であり、総額9億3千4百115千円の予算となりました。

資本的支出については、4百628千円が追加となり、総額3千9百753千円となりました。

■昭和58年度今金町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）について

歳入については、使用料326千円の追加は、超過恵道使用料であります。

利子及び配当金281千円の追加は、財政調整基金利子です。

一般会計繰入金388千円の追加は、今金岡簡易水道消火栓増設工事によるものです。

歳出については、水道使用料精算返納金500千円を減額し、財政調整基金利子積立金281千円を追加、維持管理費585千円の追加は、人夫賃金、修繕料等であります。その他、工事費93万円の追加は、消火栓等の原材料費であります。

追加総額は、955千円となり、総予算額1億9千7百48千円となりました。

■昭和58年度今金町老人保健特別会計補正予算（第1号）について

歳入については、一般会計繰入金百91千円の減額は、昨年度分の確定により不用額となったものです。繰越金1千5百954千円の追加は、昨年度概算金によることから確定現時点において補正するものです。

歳出については、償還金1千4百863千円の追加は、支払基金負担金、履行金、国庫負担金、道費負担金等であります。

追加総額1千4百863千円となり、



昭和58年度農作物作況調査表（9月15日現在）

今年の作況は…

予算総額6億1千4百581千円となりました。

作物名	作付面積	生育状況	平年対比遅速日数	生育の良否	病害虫発生状況	摘要	作況指数
	ha		日				%
馬鈴薯	479.4	萌芽後の低温、日照不足により軟弱な成育となった。 8月に入っての好天により、茎葉の枯れ上りは平年より10日早かった。排水不良地などで、塊茎腐敗がやや多かった。		軽い不良	アブラムシ　小並 疾病　〃	6・7月の異常低温により、塊茎の肥大が遅れたためと、茎葉の枯れ上りが早かったため、収量は平年を下回った。	90
大豆	132.2	発芽は順調であったが6・7月の異常低温により、成育は著しく遅延し、開花期は平年比－8日となった 8月以降の好天により、着莢数は平年並みとなったが、子実の肥大は遅れている。	－4	かなり不良	わい化病　少少中少 葉枯病 斑点粒腐病 マメシンクイムシ	生育はやや回復しつつあるが、粒重の低下に減収が予想される。	73
小豆	493.1	発芽は順調であったが、6・7月の異常低温により、成育は遅延し、生育量も著しく少なく、開花期は平年比－10日であった。 8月以降の好天により、着莢数は平年並となったが、子実の肥大は遅れている。	－5	かなり不良	灰色カビ病　少少少 葉枯病 フキノメイガ	開花の著しくおくれたもの、排水不良畑などでは、着莢数も少なく、大きく減収するものと思われる。	78
てん菜	168.4	移植後から順調な成育経過をたどっているが、平年にくらべ、草丈、葉数、根周ともやや下回っている。	－2	やや不良	褐斑病　並 ヨトウガ　並 根くされ病　やや多	一部排水不良畑などで、根くされ病発生により、減収が予想される。	95
デントコーン	249.2	6・7月の低温により成育のおくれが著しかったが、8月以降の天候回復により草丈、葉数とも平年をやや下回る程度となった。 ただし、熟度は遅れている。 草丈　244.7cm（平年　268cm） 葉数　14.8枚（〃　14.6枚） 熟度　乳熟始	－7	やや不良	特になし	収量5,225kg（平年5,500kg）但し、熟度は糊熟期前後の刈取りとなり、栄養収量は低い。	95
牧草	1,975.1	1番草の成育は順調であったが、雨天続きにより刈取り調整が遅れ、品質は低下した。 2番草の成育はおおむね平年並。 草丈　イネ科　48.5cm 　　マメ科　29.8cm	－5	やや不良	特になし	収量3,822kg（平年3,900kg）但し、一番草の乾燥調整期間が長くかかり、遅刈の為、栄養価は低い。	98
水稲	1,746.0	分けつ期以降の異常低温（6・7月）により、成育は著しく遅れ、出穂期は8月21日（平年比－11日）となった。 8月以降の好天により、やや遅れをとり戻しており、糊熟期となっているが成熟期は10月15日ころと予想される。	－10	かなり不良	ミギワバエ　少 クビホソハムシ　やや少 いもち病　少 セジロウンカ　やや多	生育は大幅に遅れているが収量構成要素（穂数）は平年よりやや多く、不稔歩合18%（平年15%）程度で平年よりやや多い。	79

昨年のまちの内情は…（財政状況）

昭和５７年度 一般会計計決算状況

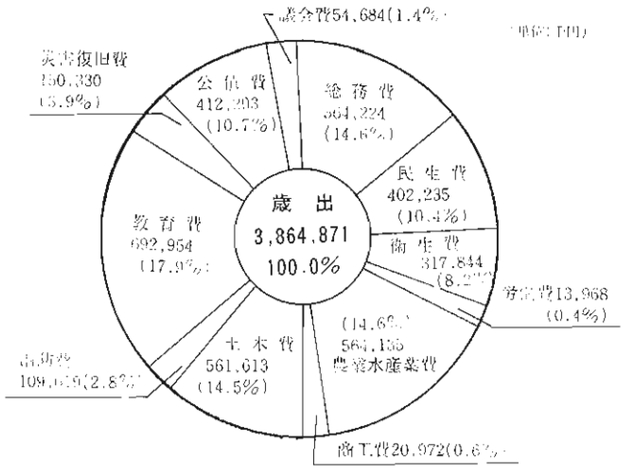
昭和57年度 性質別歳出決算額

（単位：千円）

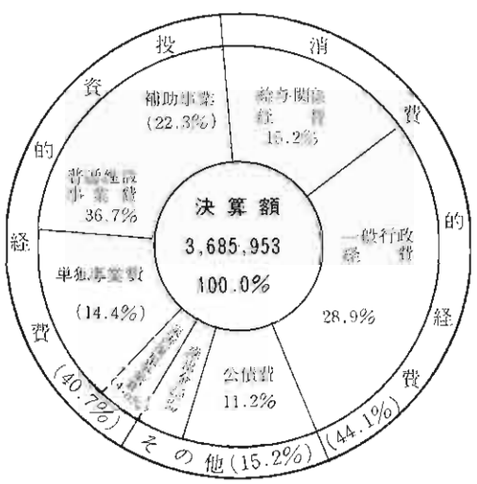
科目	昭和57年度 決算額	構成比
1．給与関係経費	560,945	15.2
(1)議員報酬	31,410	0.8
(2)委員報酬	10,034	0.3
(3)給与費	419,970	11.4
(4)共済退職手当等	99,531	2.7
2．一般行政経費	1,066,823	28.9
(1)物件費	441,196	12.0
(2)扶助費	174,851	4.7
(3)補助費等	376,038	10.2
(4)維持補修費	74,738	2.0
3．投資的経費	1,499,368	40.7
(1)普通建設事業	1,353,079	36.7
ア 補助事業	821,797	22.3
イ 単独事業	531,282	14.4
(2)災害復旧事業	146,289	4.0
ア 補助事業	146,289	4.0
イ 単独事業		
4．その他の経費	558,817	15.2
(1)公債費	411,964	11.2
(2)積立金	19,606	0.5
(3)投資出資金貸付金	509	
(4)繰出金	126,738	3.5
計	3,685,953	100.0
国民年金印紙売捌代金	178,918	(4.6)
歳出合計	3,864,871	

昭和57年度 歳出款別決算の構成状況

（単位：千円）

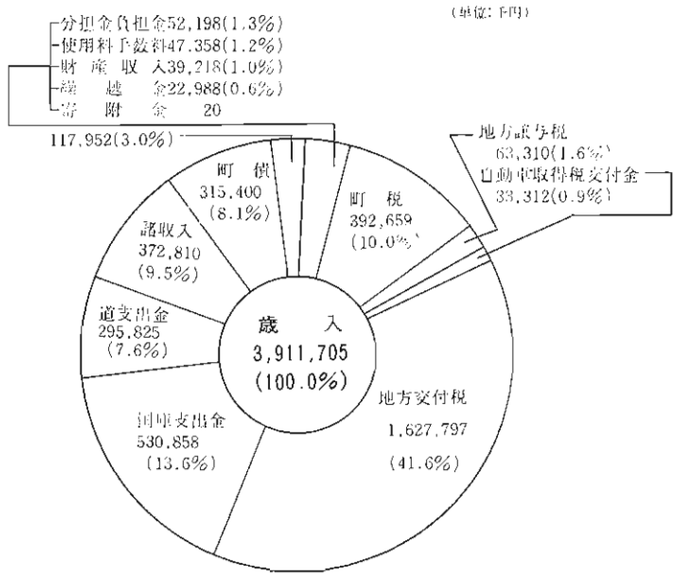


昭和57年度 一般会計 性質別歳出決算の内訳



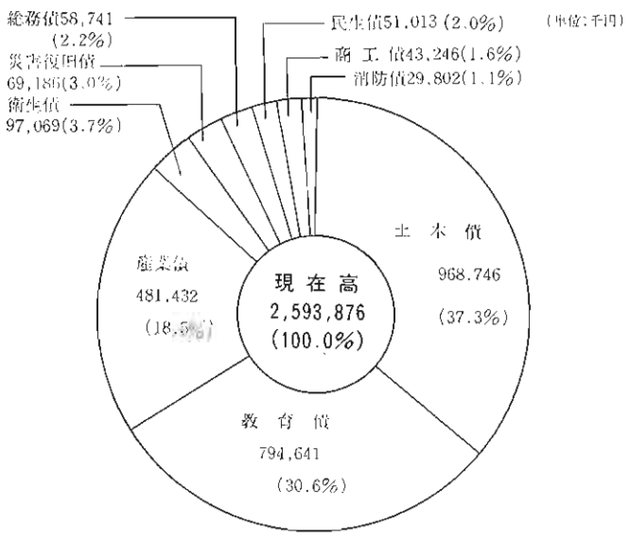
昭和57年度 一般会計 財源の構成状況

（単位：千円）



昭和57年度末 地方債の現在高

（単位：千円）



昭和57年度 一般会計 収支の状況

（単位：千円）

区分	昭和57年度
予算額	3,895,099
決算額	
歳入総額	3,911,705
(収入率)	100.4%
歳出総額	3,864,871
(支出率)	99.2%
歳入歳出差引額	46,834
翌年度へ繰り越すべき繰越事業の財源	0
実質収支額	46,834
単年度収支額	△ 154
積立金	19,606
繰上償還金	78,058
実質単年度収支額	97,510

予算額に対する決算額の収入率は100・4%、支出率は99・2%であり前年度と比較しますと収入率は0.2%減、支出率は0.3%減となりました。

昭和57年度の町債決算額は、3億1千5百万円で歳入総額に占める比率は、8.1%であります。

発行額の主なものは、火葬場の建設事業債8千5百90万円、神丘6線々道路の舗装事業等で過疎対策事業債が8千70万円になります。

鈴金地区の基幹排水整備事業、八束は場整備事業債等の農業基盤整備事業債が2千2百30万円、都市計画街路事業債8百10万円、西の岱（日進）地区開拓地整備道路事業など、辺地対策事業1千4百万円、今金小学校プール上屋建設事業債、今金中学校プール建設事業債、防雪棚設置事業債などの一般単独事業債など8千40万円、公営住宅建設事業債9百50万円などであります。

これを昭和56年度と比較しますと16・2%減となりますが、昭和57年度末における地方債の累計現在高は、25億9千4百万円にもなります。

世帯あたりは、1人あたりは

納税義務者1人当たり町民税負担額

税目	昭和57年度	
	納税義務者数	1人当たり
個人分	2,242	71,502
均等割	2,242	1,401
所得割	2,355	66,737
法人分	122	208,098
法人均等割	122	24,328
法人税割	119	188,403
合計	2,364	78,552

注1.納税義務者数は、年度末現在である。
2.1人当たり算定のための税額は、現年課税分調定額である。

町民1人当たり及び1世帯当たり町民税負担額

区分	昭和57年度
課税額	185,696
個人町民税	160,308
法人町民税	25,388
人口	8,770
世帯数	2,582
1人当たり負担額	21,174
個人町民税	18,279
法人町民税	2,895
1世帯当たり負担額	71,919
個人町民税	62,087
法人町民税	9,833

注1.課税額は、現年課税分調定額である。
2.人口及び世帯数は、各年4月1日現在の住民基本台帳人口による

目的別歳出の町民1人当りの使いみち

科目	決算額 千円	構成比	一般財源 千円	構成比	1人当り 円	1世帯当り 円
議会費	53,932	1.4	53,932	2.5	6,150	20,888
総務費	373,195	10.1	302,159	14.0	42,554	144,537
民生費	272,179	7.4	95,432	4.4	31,035	105,414
衛生費	332,520	9.0	193,435	9.0	37,916	128,784
労働費	13,969	0.4	13,677	0.6	1,593	5,410
農林水産業費	636,629	17.3	338,515	15.7	72,592	246,564
商工費	25,259	0.7	18,252	0.8	2,880	9,783
土木費	598,620	16.2	240,990	11.2	68,258	231,844
消防費	109,619	3.0	102,066	4.7	12,499	42,455
教育費	711,449	19.3	399,979	18.5	81,123	275,542
災害復旧費	146,289	4.0	589		16,681	56,657
公債費	412,293	11.2	401,443	18.6	47,012	159,680
計	3,685,953	100.0	2,160,469	100.0	420,291	1,427,557

昭和57年度の主な事業（実績）

種川東西線改良舗装事業	10,800
大和中央線改良舗装事業	10,000
防雪柵設置及び取り外し事業	9,820
今金小学校用地購入事業	9,500
道路台帳整備事業	8,292
初田地区農地開発事業	8,045
金原鈴金地区簡易水道全体計画事業	7,900
大和中央支線改良舗装事業	7,500
種川小規模排水対策事業	6,713
美利河小用地購入事業	6,389
美利河住宅団地購入事業	6,082
豊田橋高らん塗装事業	5,588
今金市街地域区画確定事業	5,450
計	312,927

〈道営負担金事業〉

田代地区農地開発事業	26,924
鈴金地区排水対策特別事業	15,652
日進農免道路整備事業	15,391
種川地区排水対策特別事業	13,576
金原地区農地開発事業	9,000
国営北檜山左岸かんばい事業	8,736
神丘畑地帯総合土地改良事業	7,000
鈴金農免道路整備事業	6,004
日新開拓地整備道路事業	5,991
花石 〃	4,037
八束ほ場整備事業	3,080
計	115,391
合計	12億3千747千円

〈補助事業〉 （単位：千円）

火葬場建設事業	123,491
新農業構造改善事業	113,245
八束橋架換事業	110,441
都市計画田代線街路事業	81,187
今金小プール上屋建設事業	58,005
今金中プール建設事業	51,292
田代線道路改良事業	49,700
公営住宅建設事業	37,358
豊田・金又線防雪柵設置事業	27,344
豊田線道路改良事業	25,715
テレビ難視聴解消施設整備事業	23,350
地籍調査事業	22,316
神丘6線々道路舗装事業	21,047
奥光台線間伐林道事業	19,314
公有林整備事業	12,708
美利河ダム対策事業	8,100
肉用牛経営効率改善実践事業	6,395
地域農政推進対策事業	6,281
金原地区農業基盤総合整備事業	5,140
計	802,429

〈単独事業〉

美利河小新築事業	115,008
美利河小教員住宅建設事業	24,300
投資教員住宅購入事業	15,980
用地測量委託事業	15,081
季節労務対策事業	12,285
今金中外構事業	17,320
優良黒毛肉雌牛導入事業	10,874

昭和57年度 目的別決算の内訳

（単位：千円）

区分	決算額	財源内訳				
		国庫支出金	道支出金	起債	その他	一般財源
議会費	53,932					53,932
総務費	373,195		18,302	9,000	43,734	302,159
民生費	272,179	114,532	39,347		22,868	95,432
衛生費	332,520	3,711	41,461	89,000	4,913	193,435
労働費	13,969		292			13,677
農林水産業費	636,629		194,502	60,100	43,512	338,515
商工費	25,259		20		6,987	18,252
土木費	598,620	243,678	1,103	77,700	35,149	240,990
消防費	109,619		353	4,600	2,600	102,066
教育費	711,449	23,965		75,000	212,505	399,979
災害復旧費	146,289	144,972			728	589
公債費	412,293				10,850	401,443
計	3,685,953	530,858	295,380	315,400	383,846	2,160,469

昭和57年度 特別会計決算状況

国民健康保険特別会計（施設勘定）収益的収入の病院事業収益は、前年度と比較しますと3千百万円3.2%の増となりました。又、収益的支出の病院事業費用は、前年度と比較しますと1億2千5百万円13.7%の増となり、その主なものは、薬品等の材料費、人件費、物件費の医業費用であり、9億7千5百万円、前年対比14.6%の増となりました。

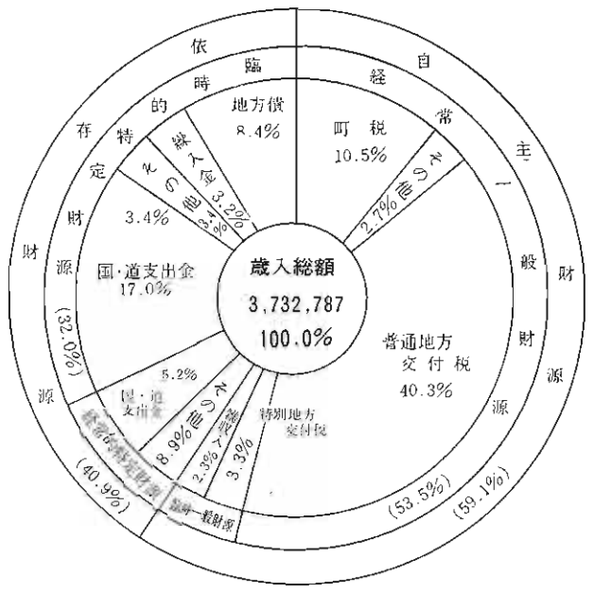
資本的収入については、前年度と比較しますと79.6%の減を示しておりますが一般会計繰入金9百90万円、前年対比80.2%が減となりました。

資本的支出については、前年度と比較しますと2千2百万円54.8%の減となりました。

本年度の主なものは、機械備品購入などであり、その他企業債償還金1千2百万円と、これにより、損益計算書の当年度の純損失（赤字）は、6千4百34万円となりました。

※国民健康保険の税については、総額6億5千4百万円に対し、皆様が負担しているのは、27%、国からは、65%であります。更にその不足分として町が補てんしている額は、4千万円、6%の割合となり、57年度までを累計しますと、なんと3千7百74万円の数字となります。

昭和57年度 一般会計
収入の財源別構成状況



昭和 57 年度
国民健康保険特別会計事業勘定

（単位：千円）

予算額	642,262
決算額	—
歳入総額	654,006
（収入率）	101.8%
歳出総額	639,724
（支出率）	99.6%
歳入歳出差引額	14,282
翌年度へ繰り越すべき繰越事業の財源	—
実質収支額（イ）	14,282
単年度収支額	△ 21,132
積立金	667
実質単年度収支額	△ 20,465
一般会計繰入金（ロ）	—
再差引収支額(イ－ロ)	△ 20,465

昭和 57 年度
簡易水道事業特別会計

（単位：千円）

予算額	73,708
決算額	—
歳入総額	74,587
（収入率）	101.2%
歳出総額	73,341
（支出額）	99.5%
歳入歳出差引額	1,246
翌年度へ繰り越すべき繰越事業の財源	—
実質収支額（イ）	1,246
単年度収支額	△ 215
積立金	600
実質単年度収支額	385
一般会計繰入金（ロ）	13,927
再差引収支額(イ－ロ)	△ 13,542

昭和57年度 国民健康保険事業状況

1．一般状況

一部負担割合	30.0%		その他の給付		助産 80 千円	育児 千円		葬祭 10 千円	
	前年度末現在	本年度中増	本年度中減	年度末現在	年間平均	本年度末現在事務職員数	専任	兼任	計
世帯数	1,358	192	202	1,348	1,322		2	1	3
被保険者数	4,377	767	865	4,779	4,696				

被保険者増減内訳

本年度中増	転入	社保離脱	生保廃止	出生	その他	計	本年度中減	転出	社保加入	生保開始	死亡	その他	計
	95	548	9	72	43	767		135	621	29	52	28	865

異動届件数	取得	405	喪失	429	氏名変更	28	世帯変更	1	住所変更	51	世帯主変更	15	計	929

2．経理状況

（単位：千円）

収入 科目	決算額
保険税	179,526
国庫支出金 事務費負担金	9,154
国庫支出金 療養給付費負担金	291,299
国庫支出金 普通調整負担金	69,551
国庫支出金 特別調整負担金	25,392
国庫支出金 助産費補助金	1,742
国庫支出金 臨時財政調整交付金	29,215
国庫支出金 計	426,353
道支出金	325
繰入金 一般会計補助金	23,500
繰越金	17,414
その他の収入	6,888
合計	654,006

支出 科目		決算額
総務費		16,940
保険給付費	療養諸費 療養給付費	509,899
	療養諸費 療養費	9,146
	療養諸費 小計	519,045
	療養諸費 手数料	1,225
	高額療養費	69,998
	助産諸費	5,760
	育児諸費	—
	葬祭諸費	510
	その他	—
	計	596,538
保健施設費		3,092
直診勘定繰出金		800
公債費		—
予備費		—
その他の支出		692
老人保健拠出金		21,662
合計		639,724

3．収　納　状　況

（単位：千円）

区分		調定額	収入済額	未収額	収納率
保険税	現年分	188,338	175,523	12,815	93.19
	滞納繰越分	28,933	4,003	24,930	13.83
	計	217,271	179,526	37,745	82.58

4．支　払　状　況

（単位：千円）

区分		支払義務額	支払済額	徴収金等
療養給付	現年度分	506,052	509,899	3,847
療養費	現年度分	9,109	9,146	37
高額療養費		69,998	69,998	
その他保険給付費		6,270	6,270	
合計		591,429	595,313	3,884
老人保健医療費拠出金	現年度分	21,611	21,611	
	計	21,611	21,611	

5．経理関係諸率

（単位：円）

収入（被保険者1人当たり諸費）		
保険税（料）		38,230
国庫支出金	事務費負担金	1,949
	療養給付費負担金	62,031
	普通調整交付金	14,811
	特別調整交付金	5,407
	助産費補助金	371
	臨時財政調整交付金	6,221
	計	90,791
道支出金		69
繰越金		3,708
合計		139,269
収支差引残		3,041
1世帯当たり保険税調定額（現年）		142,465
1人当たり保険税収納額（現年分）		37,377

（単位：円）

支出（被保険者1人当たり諸費）	
総務費	3,607
療養諸費（小計）	110,529
手数料	261
保険給付費計	127,031
保健施設費	659
老人保健医療費拠出金	4,602
老人保健事務費拠出金	11
合計	136,227
1人当たり保険税調定額（現年分）	40,106
1人当たり未払額（療養給付 〃 ）	

シリーズ②

地名の由来

（昭和8年8月10日字名改正）

中　里（旧字名シュブン、ナイ）

アイヌ語で「シブノリ、ナイ」であり、「ウグイ魚の多い川」沿ウグイ（赤ハラ）が群をなして上っていたとのことです。

現字名は、鉄道に遠く、交通網に不便であり、衰船通いでした。孤立山村であるが自然に恵まれ、住みよいふる里であったことから「中里」と名づけられました。

奥　沢（旧字名サックル、ベツ）

アイヌ語で「サク、ル、ペシコベ」が転訛したもので「夏の樹木が繁茂している、季節に適る者」の意味であります。

現字名は、沢が深いところから「奥沢」と名づけられたようです。

住　吉（旧字名ハカイ、マップ）

アイヌ語であり、「ハカエ、オマプ」の転訛したもので「鮭を二ソ割にしているものを載る納屋」（久慈郡役所の報知による）の意味であります。「ハカエ」は日本伝来の言葉であり、漁撈用語、早くから和人が入ったものと推測されます。

現字名は、明治26年頃の開拓者で住吉太郎氏が定住していたことから頭文字をとり「住吉」と名づけられました。

種　川（旧字名メップ）

アイヌ語であり、「メップ、ナイ」が転訛したもので「喜き沢、湧水のある沢」の意味であります。

現字名は、明治26年頃、埼玉県人が入植され、畦心化を研究され、開を繁殖させる種になる川であったことから種川と呼称しており、そのまま「種川」と名づけられました。

稲聴・田代（旧字名メップ南岸）

アイヌ語であり、字種川と同様の意味であります。

現字名は、秋田県人である佐藤万太郎氏が大正8年に入植、稲の研究をされ、早稲の稲づくりをされました。未来の米どころとして「稲聴・田代」と名づけられました。

光　台（旧字名メップ）

アイヌ語であり、字種川と同様の意味であります。

現字名は、光の沢という川の名称があり、その上に位置することから「光台」と名づけられたようです。

6．保険税賦課徴収状況

保険税算定額	保険税軽減額	限度額を超える額	増減額	保険税調定額
282,026千円	20,878千円	62,050千円	△10,760千円	188,338千円

保険税算定額内訳				税率			
所得割	資産割	均等割	平均割	所得割	資産割	均等割	平均割
137,876千円	29,068千円	74,685千円	40,397千円	7.58%	69.1%	15,000円	29,000円
48.89%	10.31%	26.48%	14.32%				

課税対象額		課税対象世帯数	保険税軽減世帯数	限度額を超える世帯数	課税対象被保険者数	試課限度額
所得割	資産割					
1,818,949千円	42,068千円	1,393	544	240	4,979	270万円

7．保険給付状況

（単位：千円）

区分		件数	費用額
療養給付	診・療費	25,829	723,142
	薬剤支給（155）	106	470
	計	25,935	723,612
療養費	診療費		—
	その他	693	13,013
	計	693	13,013
療養諸費計		26,628	736,625

区分		件数	費用額
高額療養費		1,492	69,998
その他の保険給付	助産給付	72	5,760
	育児給付		—
	葬祭給付	51	510
	計	123	6,270

被保険者1人当たり療養諸費費用額 175,680円　　被保険者1人当たり療養諸費保険者負担額 139,556円

8．療養諸費費用額負担区分

（単位：円）

区分	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分	
				他法優先	国保優先
療養の給付	723,612	506,052	146,096	680	70,784
療養費	13,013	9,109	984	—	2,920
計	736,625	515,161	147,080	680	73,704

9．療養の給付（診療費）内訳

（単位：円）

区　分	件　数	日　数	点　数	費用額	受診率 ‰	1件当日数	1件当たり費用額	1人当たり費用額
入　院	1,725	40,425	43,185,920	431,859,200	41.140	23.43	10,683	102,395
入院外	20,535	65,549	24,197,674	241,976,740	489.945	3.19	3,692	57,710
歯　科	3,569	9,889	4,930,556	49,305,560	86.118	2.77	4,986	11,759
計	25,829	115,863	72,314,150	723,141,500	616.003	4.49	6,241	172,464

10．高額療養費負担区分

（単位：円）

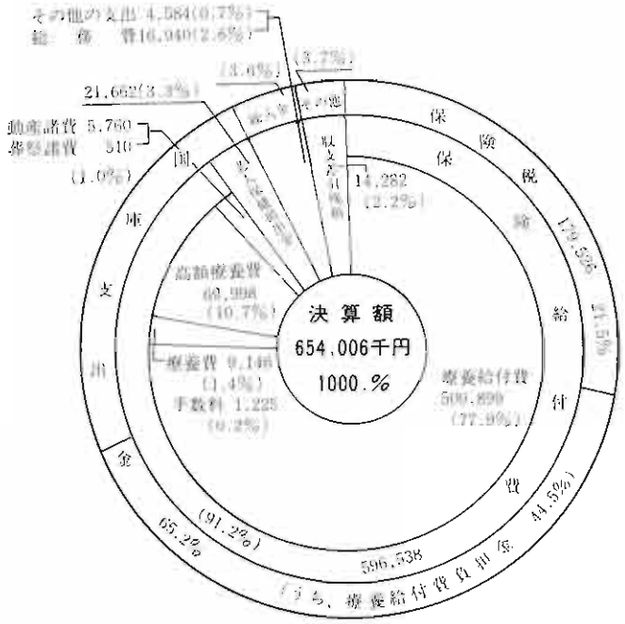
件　数	費用額	保険者負担分	高額療養費	被保険者負担分	他法負担分	
					他法優先	国保優先
1,492	429,785,560	300,849,892	69,997,668	16,170,000	0	42,768,000



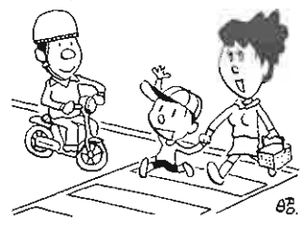
街頭指導を受ける今金幼稚園児とお母さんたち

昭和57年度　国民健康保険事業勘定
歳入・歳出決算額の構成状況

（単位：千円）



みんなの『願い』交通安全



交通安全として「シートベルトを着用しよう」と9月24日交通安全推進委員会の企画により、委員2人、婦人会4人や警察署2人などのご協力があり、車両台にナイロンのゴミ袋を配布、シートベルト着用を呼びかけました。

中にはベルトのしめかたのわからない方もいたりしましたが皆さんは心よく指導に応じてくれました。

園児に交通安全をと、小百合保育園では指導依頼をし9月28日実施、園児60人とお母さん達が参加、警察署員1人と交通安全推進委員2人などのご協力により模擬交差点を設置、指導を受けました。

今金幼稚園でも同じように9月29日に開催、警察署2人と交通安全指導員4人、町職員などのご協力により、園児73人とお母さん達が参加、実際に街路を歩き交差点のわたり方の指導を行いました。

種川クリーン作戦

種川小学校全員で



空きかんごみを回集した種小の生徒たち

種川をきれいにしようと生徒89人先生10人が10月1日に周辺のごみや空かん拾いを実施いたしました。

これは、今年度はじめての試みとして5月に1回目を実施、これで2回目となり、回収量は初回からみると半減、それでも空かん300個を回収しました。

学校では「ゆとり時間」があり、これを環境を整備しようと学校ではじめたことです。これを契機に今後とも続けてゆきたいと先生は話しておりました。

第20回町民マラソン大会兼交通安全マラソン大会

人あふれ

健脚きそう



高見公園に集合した健脚たち



親たちの声援におくられて

体育協会の主催、陸上競技クラブのご協力を得て10月15日大会が開催されました。

大会開始前に河端町長からあいさつがあり、最近は交通事故が多くなりました、皆さんも気をつけるよう。また、今日のマラソン大会には全力をだし、がんばってくださいと励ましの言葉がありました。

選手宣誓には、今金中学校二年生の吉村さおりさんが誓いの言葉を述べ大会が開始されました。

コースは、学年年齢により距離が違いますが総合体育館前から神丘までと、300人が参加力走、3位まではメダルと記録証、10位までは記録証があたり、汗にまみれた顔をほころばせておりました。

つくろう健康、豊かな明日へ

「健康は自ら守り育てる」「つくろう健康、豊かな明日へ」の二つのスローガンを保健活動の目標におき、皆さんの健康づくりに役立ててもらおうと種々の健診を実施しておりますが、この度五十八年度上半期（四月～九月）の健診状況がわかりましたのでお知らせいたします。

一般健康相談については、毎月第二月曜日を定例日としておりましたが、利用者が増えてきたことから今年度より第四月曜日も実施することになり、月平均30人の方に利用されております。特に高血圧・糖尿病等の成人病をもつ方の経過を追っての健康状態を知る機会となっている他、一般の方にも気軽に利用されつつあります。今後さらに多くの皆さんにこの相談を知ってもらい、自己の健康管理に役立ててもらいたいと思います。

妊婦相談については、受診率は三〇％と低いようですが、全妊婦が医療機関で健診を受けており、母子の健康管理の重要性が理解されてきたことを示すものと思われます。この相談では、隔月に貧血検査を実施しておりますが、妊婦貧血が多いことから、今年度より検査内容及び栄養指導・保健指導の充実をはかっております。また、種々相談も受け、医療機関の健診とは一味違った〝妊婦さんと充分話し合うことのできる場〟となるよう努めております。毎月第二火曜日を定例日としておりますが、個別通知で案内する他、妊娠届時にも日程表を配付しておりますので、早目に届出し、一回でも多くこの相談を利用して順調な妊娠経過をおくってほしいものです。

保健の窓

福祉課保健係

乳幼児の健診としては、育児講座（三ヶ月児対象）・乳児健診（四・七・十・十二ヶ月児対象）・乳児相談（八・九ヶ月児対象）・一歳六ヶ月児健診・三歳児健診があり、受診率はいづれも若干の伸びを示しております。当町の年間出生数は一一〇人前後ですが、障害児が毎年出生しており、その出生率は他町より高いことから、早期発見、早期治療を目指し乳幼児健診を実施しております。種々健診の機会を逃がすことなく受診し、わが子の順調な成育を確認してほしいものです。

社会構造が多様化・複雑化する中で、健康阻害因子も多種多様化し、健康を維持するには、〝自ら健康を守る〟という意識と行動が、ますます重要となってきました。一生を通しての健康ということを考えてみますと、母親のお腹の中に生命が誕生した時から、動脈等の老化が始まるとさえ言われてきており、健康管理もこの時点から始まるのです。離乳食が将来の成人病に関与するという報告も出されており、成人病になってから、また健康を阻害してからでは遅いことを認識してほしいのです。

健診状況と常々保健婦が感じていることを述べてみましたが、前記以外にも種々の検診、相談を実施しておりますので、一人でも多くの皆さんが利用され、自分の、家族の健康づくりに役立てていただきたいと思います。

農林水産大臣から感謝状

「統計の日」10月18日に、平野清雄さん（神丘）西野栄さん（神丘）の2人に感謝状と記念品が贈られたものです。

これの伝達が函館統計事務所北檜山出張所においておこなわれました。

2人は、農家経済調査員として、20年の長きにわたり酪農の牛乳生産費の調査について、日頃のご協力に対し、感謝状が贈られたものです。

『話題募集』

いま話題になっていることがありましたら、お知らせください。広報係

社会福祉協議会だより

個人名又は団体名	住所	寄贈内容	寄贈先
今金町商工会青年部	今金	〆10,000	豊寿園
		〆10,000	光の里学園
本田商店	大和町	ガスコンロ 1台	〃
山田勉	東町	婦人用下着 20枚	豊寿園
伊藤フミエ	白石	とうきみ 60本	光の里学園
山崎トメ	乙部町	珍味 3袋	〃
松永ツナ	東町	菓子 1函	〃
房田勝清	江差町	ブドウ 5函	〃
		わかさいも 4函	
北海道花王販売㈱	札幌市	ハロー歯ぶらし 1函(72本)	〃
獅戸亮一	鈴金	金魚 9匹	〃
千葉呉服店	八幡町	婦人ブラウス 4枚	

困難にうちかって

肢体不自由児者巡回療育相談



成果や指導会話もなごやかに

檜山支庁管内10ヵ町の18歳未満の肢体不自由児を対象として、相談や指導を10月4日今金町民センターにおいて実施されました。

これは、北海道肢体不自由児者福祉連合協会の主催によるものですが、昭和56年度から毎年一回実施しているものであります。

本来ならば札幌まで出向き、検診や指導を受けなければなりませんが依頼により各支庁単位に来町してくれています。

療養指導スタッフは、札幌療育センター整形外科医師3人、訓練士2人と町の保健婦や職員、児童相談所や支庁職員などのご協力のもとに、管内の障害児47名が検診や相談を受けました。

相談者は、「札幌まで行くとお金がかかるし大変です、近くで訓練の成果などを見てもらえるので大変たすかります。」と話しておりました。

父と子

熟年世代の父親たち

日本経済新聞社企画調査部が、東京都内に住む、四十五歳から六十四歳までの人を対象に行った調査があります。昭和五十七年夏に行ったもので、さしずめ熟年世代の調査といえましょう。

まず大正時代から昭和五十年代までの多くの事柄を挙げて、この中であなたの人生に影響を与えたものがあったら印をつけてほしい、と求めました。熟年世代の男性が最も印象が深いと述べているのは、第一位が敗戦、第二位が太平洋戦争、次いでオイル・ショック、東京オリンピックと続きます。ロッキード事件、不況もありますが、学徒動員、二・二六事件、たけのこ生活などもあります。若い世代には想像もつかないような経験を父親たちはしているのです。

現在、生活の中で関心のあるものは家族の健康、自分の健康、仕事、子供の将来、今後の生活設計となっています。四十代の父親は子供の将来や仕事のことに、六十代の父親は友人・知人との付き合いに関心が向きます。自信のあることは実行力、想像力ですが、持久力、スタミナはそれより低く、しかも年齢が高くなるにつれて、〝自信度〟は下降します。

健康であるために大切だと思うことは「定期検診」「日ごろ歩く」「自然に親しむ」「スポーツ」の順です。しかし、実際にそうしているかというとそうではありません。スポーツをすることは大切だと思う人は多いのですが、実際にしている人はずっと少なくなります。

余暇については、休養して身体を大切にするための時間と考える人が過半数を占めています。余暇活動としてスポーツ以外に現在やっているものは、テレビ視聴、読書、盆栽、友人との交際、国内旅行ですが、今後やりたいものとしては海外や国内の旅行を望んでいます。

大正から昭和十年ごろまでに生まれた父親世代の生活や意識の一部を知ることができます。十代、二十代の青年とかなり大きな差があることに気づかれたでしょう。

東京都立大学教授・心理学 詫摩武俊（たくまたけとし）

昭和59年度訓練生の募集について

▽入校資格
義務教育修了以上の学力を有する人で身体強健、意志強固な人。

▽願書の受付・しめ切り
昭和58年11月1日より
昭和59年1月31日

▽選考方法
書類選考、面接選考

▽選考日
新規学卒者
昭和59年2月10日㈮
転職者随時

入校についての問い合わせ
函館総合高等職業訓練校
0138-52-0323
函館公共職業安定所
0138-26-0735

■11月の休日当番医

3日	北檜山町平医院	☎④5011
6日	北檜山町国保病院	☎④5321
13日	今金町国保病院	☎②0221
20日	北檜山町国保病院	☎④5321
23日	今金町富田医院	☎②0324
27日	今金町国保病院	☎②0221

■年末年始のし尿収集にご協力を……

年末は、各家庭よりし尿の収集申込みが殺到し、収集処理業務が難航しますので次の期間までに申込みください。

▷年内収集を希望する方は一

12月10日までに（但し、農村地区の方は11月30日までに）

▷申込み先は一

北部檜山環境衛生㈱　電話2－0403

〈北部檜山衛生センター組合から〉

■お年玉つき年賀はがき

■■発　売■■　心を心で結ぶ

11月4日㈮から発売するお年玉つき年賀はがきが3円の寄付金を含めて45円で発売します。

お年玉つき年賀はがきにつけられた寄附金は、がんの研究や治療のための機器整備やおとしよりのための施設等に贈られ、社会福祉の増進にも役立てられています。

今年も美しい絵入りの年賀はがきで新年のごあいさつと併せて社会福祉等へのご協力をお願いいたします。

〈今金・種川・花石郵便局から〉

■道税の臨時窓口開設日について

11月から次のとおりに変更いたします。

▷開設場所一北檜山町（檜山支庁北檜山合同庁舎、社会福祉事務出張所内）

▷開設日時一毎月25日（当日が土・日曜日の場合は月曜日とします。）

午前10時～午後3時までに

※本年度の開設日は、11月25日㈮、12月26日㈭、1月25日㈬、2月27日㈪、3月26日㈭です。

檜山支庁地方部税務課から

☎（01395）2－1010

■身体障害者駐車禁止除外指定車標章交付申請の取扱いについて

支庁長の発行する身体障害者手帳の所持証明か必要でしたが、下記の要領に変更になりました。

▷変更点一身体障害者手帳の所持証明が不用になった。

▷必要な書類等一車検証の写2部、免許証の写2部、身体障害者手帳の写2部、印鑑

▷提出先一最寄りの警察署まで

▷該当する障害等級一視覚障害（2級以上）下肢障害・平衡機能障害・体幹機能障害等は（5級以上）心臓機能障害・呼吸器障害・じん臓機能障害等は（1級以上）

詳しいことのお問い合わせは、

檜山支庁社会福祉課福祉係まで

住民の動態

住民の動態

9月末現在

	前月対比
人口	8,770（＋23）
男	4,248（＋13）
女	4,522（＋10）
世帯数	2,601（＋6）

◎おたんじょうおめでとう

田中　潤	8月25日	（訓夫　2男）	緑　町
町田　信	8月29日	（了　2男）	高美町
三津橋直幸	8月31日	（秀之　長男）	下種川
渡辺　拓郎	9月1日	（勝一　長男）	寒　昇
山崎真奈美	9月10日	（一彦　長女）	啄　町
日置　典邦	9月16日	（信幸　長男）	八　束
日置　佳宏	9月18日	（昭司　2男）	高美町
大場　充	9月21日	（義光　長男）	白　石

◎いつまでもおしあわせに

井下　照男（大和町）＝笹森美智子（乙部町）

今野　雅彦（大和町）＝西田　知子（旭　町）

八重樫　保（御　影）＝広沢　千春（函館市）

五十嵐義治（日　進）＝外崎　恵子（末広町）

◆おくやみもうしあげます

赤石コマ	9月2日	50歳	東　町
寺田きくよ	9月3日	70歳	金　丈
佐々木ナヨ	9月5日	63歳	栄　町
田中幸作	9月5日	64歳	八幡町
久米きか	9月6日	86歳	八幡町
水野富一	9月11日	74歳	鈴　金
橋本　正	9月14日	71歳	八　鈴
天沼カヱ	9月15日	87歳	神　丘
菅木季蔵	9月17日	87歳	末広町
上村源之助	9月27日	77歳	神　丘

発行／北海道今金町役場　Tel代②0111番　編集／企画課広報係